17感動する脳（茂木健一郎）

―感動することをやめた人は、生きていないのと同じことだ。……

　今私たちが生きているこの世界。もっと広い言葉を使うなら、この宇宙。その中でいろんな物事に（　Ａ　）を向けて、新しい見方を得ていく。それこそが「感動」であると私は思います。そしてそのために必要なのが創造性です。人間は創造的に生きることで、「感動」という人間にしか味わえないものを（　Ｂ　）に入れることができるのです。

　この「創造性」という言葉はよく（　Ｃ　）にします。子供の教育についても、「創造性を伸ばそう」などと言われている。ただ、よく使われる言葉の割には、どこか①とっつきにくい印象をも持っています。

　創造性なんていうものは、一握りの芸術家や、あるいは才能にれた人だけのものだ。平凡な人間にとっては縁のないもの。そんなふうに思っている人が少なくないのではないでしょうか。しかしそれは大きな勘違いです。創造性の一カケラもない人間なんてこの世にはいません。いかなる民族も、年齢や性別に関係なく、全ての人間には創造性が備わっている。もっと広い意味で言うなら、創造性とは全ての生命が等しく持っている性質であるとも言えるでしょう。

　生命の起源をふり返ってみると、②そのことがよくわかります。生命のスタートは、とても単純な構造で始まっています。たった一つの細胞が生まれ、それがどんどん多細胞生物へと進化していく。そしてカンブリア爆発（五億数千万年前の古生代カンブリア紀に動物が爆発的に多様化し、大進化が起こった現象）と呼ば③れる劇的なドラマによって、生命は大きな進化を手に入れてきたわけです。

　こういった④生命の歴史を考えてみると、生命というものは、常に新しいものを生み出してきたということがわかります。［　Ⅰ　］、「生命は常に創造をくり返してきた」と言えるのです。

　新しいものをつくる、　新しい形になる、そしてそのたびに新しい機能を獲得していく。まさに生命そのものが創造性と切り離すことができないものなのです。

　少し難しい話になってしまいましたが、要するに私たちが「生きている」ということは、すなわち何かを［　Ⅱ　］し続けていることなのです。

問１　（　）Ａ〜Ｃに入ることばをそれぞれ次から選び、記号で答えよ。

ア　口　　イ　耳　　ウ　手　　エ　目

Ａ＝（　　　）　　Ｂ＝（　　　）　　Ｃ＝（　　　）

問２　―線部①について、一般にわれわれは「創造性」をどのようなものと思っているのか。それが書かれている連続する二文の最初の五字を答えよ。

〔　　 　　　　〕

問３　―線部②について、「その」が指す内容を、文中から二五字以内で抜き出し、最初の五字を答えよ。

〔　　 　　　　〕

問４　―線部③の文法的な意味として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　受身　　イ　可能　　ウ　自発　　エ　尊敬

問５　―線部④について、「生命の歴史」に着目した意図は何か。最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　宇宙のさまざまな物事に目を向けて新しい見方を得ることの大切さを、生命の起源と比較しながら述べるため。

イ　「一カケラの創造性もない人間はいない」ということを、民族や年齢、性別といった観点から述べるため。

ウ　創造性とは、すべての生命が等しく持っている性質であることを、生命の進化に照らして述べるため。

エ　すべてを支配する生命の進化の歴史から、創造性が必然的に発生する法則性を述べるため。

問６　［　］Ⅰに入ることばとして、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　その理由を考えると　　イ　その結果を考えると

ウ　言い換えるなら　　　　エ　思考を転倒させれば

問７　［　］Ⅱに入ることばを文中から二字で抜き出して答えよ。

〔　　　 　〕

【解答】

問１　Ａ＝エ　Ｂ＝ウ　Ｃ＝イ

問２　創造性なん

問３　創造性とは

問４　ア

問５　ウ

問６　ウ

問７　創造